

国民体育大会（公開競技）武術太極拳・  
2021年以降変更点・改正点協議事項

2020年10月 国体委員会

2021年以降 変更点について協議した結果をご報告いたします。

※大会について

- ・日程・種目については当面変更なし  
2日間・2コート・9種目（都道府県代表最大10名）  
2日間・2コートでの実施が難しくなったら、  
その時に協議し対策を考える。

※大会運営について

- ・審判採点方法 = 審判委員会と協力して改善していく。  
→ ジャストツールのシステムから簡易版のシステムに変更  
採点がスムーズに行くように修正していく。

※経費節減について（大会を長く続けていくために、経費を見直す。）

- ・謝金について  
→ 役員・審判員・スタッフの謝金を一律3,000円とする。  
→ 販売用DVDは削減する。

※都道府県予選について

- ・予選に関係する都道府県宛補助 50,000円は継続  
→ 都道府県大会等で選抜、又は推薦で選手を選抜する。

以上

国体委員会

委員長

吉田由美子

副委員長

谷川大 及川佳織 中村剛

春田牧子（鹿児島） 岩佐育代（三重）

高山宗久（栃木）

※2022年開催地の栃木県連盟より、高山宗久氏を新任